

巻末資料 1

参加者の内的準備の評価尺度

- 1-1. 説明用紙 132-134
- 1-2. 質問用紙 135-140
「チャイルド・デス・レビューの検証会議に関する実態調査 / ご協力いただく皆様へ」
- 1-3. 回答用紙「修正版」 141-142
- 1-4. フィードバックの例「CDR 実施状態アンケート」（計 8 回分） 143-150

R3年度厚労科研沼口班: CDR実装に関する実態調査

(分担: 山岡)

CDRの成果を見える化
(言語化・整理) したい...

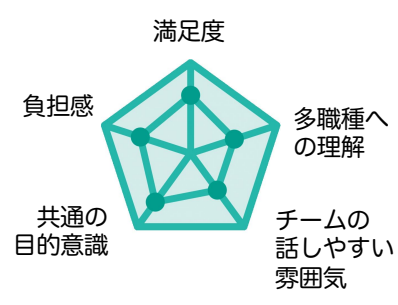
チームや個人の到達程度を
確認する (成長具合を自己
評価できる) ようなもの
→ やって良かったにつな
がるように

CDRやって
良かったこと
ってなんだろう
...



- 理解が深まった?
- 連携が良くなった?
- 予防策を提言できた?

...



調査の目的

1. CDRに関わっている人が感じている満足感や改善点について測定する。
2. CDRを運営に関する組織の準備体制、多職種連携の実態を明らかにする。
3. 今後の効果的なCDR実施に向けた提言に繋げる

調査対象・時期・方法

【対象者】

- CDRモデル事業に関与している9道府県（北海道・福島・山梨・群馬・三重・滋賀・京都・高知・香川）において、実際にCDRの運営や多職種検証会議に参加している関係者（1県あたり10～20名程度、合計80～100名程度?）
- これからCDRの導入や死亡事例の多職種検証会議の開始を準備している関係者（千葉・愛知など）（20～30名程度?）

【対象時期】

- 第1回調査：多職種検証会議前、あるいは10-11月頃。
- 第2回調査：多職種検証会議後、あるいは来年1-2月頃。

【方法】

- 準備会議・多職種検証会議で集まった時に質問紙を配布、無記名回答、その場で回収

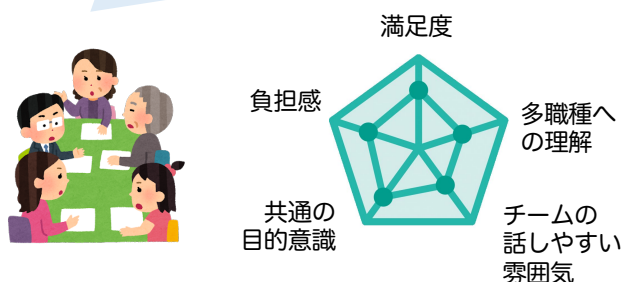
調査結果の示し方

- 個人の受け止め方、チームの雰囲気・協働度：
県ごとに全体の平均点、もしくは職種別の平均点
全国平均と比較した自地域の特徴をつかむこともできます
- 第1回目・2回目の結果の比較
検証会議の実施によって / 検証会議の回数を重ねることによって、
変化するもの・しないもの
どういった点を今後改善していきたいか
- 個人が特定されないようにまとめます

結果の使い方（イメージ）

- 各チームで、現状把握、今後の改善点の議論などに使ってもらえたら嬉しいです
- 何点以上が良い、というようなカットオフ値を設定するつもりはありません
- 各チームで、**どんな検証会議に今後していきたいか？**という話し合いの資料になればと思います

- 今回の検証会議では満足度と理解度が、前回より高くなりました！
- どんな風にしたら、もっと話しやすい雰囲気になると思いますか？
- どのなところに、負担感を感じていますか？



チャイルド・デス・レビューの検証会議に関する実態調査

ご協力いただく皆様へ

近年、子どもの死亡を検証する制度、チャイルド・デス・レビュー（以下、CDR）の整備が進んできており、CDR の体制構築・実装の必要性が広く認識されています。CDR を導入し運営していく際には、多職種で情報を収集し検討するための効果的な多職種連携体制の構築が重要となります。

効果的な CDR の運営には、チームとして新しい事業に取り組む準備ができているか、変化を受け入れる雰囲気は整っているか、関わっている人はやりがいを感じているかなどの側面が関係しており、それらを評価した研究はあまりありません。そのため、CDR の運営・準備などに携わっている皆様に、CDR に関わってみて感じることなどを調査させていただきたいと思っております。この調査に全て回答するのに、およそ 5-10 分程度かかります。この調査への参加は自由であり、答えたくない部分はスキップしていただいても構いません。結果は個人が特定されない形で集計されます。

本調査は厚労科研沼口班（わが国の至適なチャイルド・デス・レビュー制度を確立するための研究）の一環として実施しており、いただきましたご意見をもとに、今後のCDR の導入・運営・普及などの支援体制を充実させていたための知見を報告・提言させていただく予定です。

お忙しい中恐縮ですが、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【注意事項】

- 回答用紙に記入し、回答用紙のみ提出してください。
- オンラインで回答していただける場合は、こちらのQRコードにアクセスして回答してください。（その場合は紙の提出は不要です。）



もしくは <https://forms.gle/3gPreepDV2odBW1e6> にアクセスください。

調査に関するお問い合わせ先：

東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
国際健康推進医学分野 プロジェクト助教 山岡祐衣
〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話： 03-5803-5188 （対応可能時間 平日 9:00～17:00）

Fax: 03-5803-5190

E-mail: yamaoka.hlth@tmd.ac.jp

問1 携帯電話の下4桁を教えてください

※ 2回目以降のアンケートの突合のために使用します。個人は特定しません。

問2 性別を教えてください

問3 年齢を教えてください

※ 以下、当てはまるものに番号を回答用紙に記載してください

問4 職種あるいは勤務先を教えてください

1. 医師（小児科）
2. 医師（救急科）
3. 医師（法医学）
4. 医師（その他：記載してください）
5. 看護師
6. 保健師
7. 心理士
8. 児童福祉機関：上記に当てはまらない人
9. 警察
10. 検察
11. 救急救命・消防
12. 保育園・幼稚園
13. 小学校・中学校・高等学校
14. 行政職員（都道府県）：上記に当てはまらない人
15. 行政職員（市区町村）：上記に当てはまらない人
16. その他（記載してください）

問5 上記の職種における勤務年数はどの程度ですか？

1. 2年未満
2. 2年～5年未満
3. 5年～10年未満
4. 10年～20年未満
5. 20年以上

問 6 CDR の個別検証に検証委員として参加したことがありますか？

(当てはまるもの1つ)

1. 一度もない
2. はい、1回だけある
3. 2～4回ある
4. 5回以上ある
5. わからない
6. オブザーバーとして参加したことがある

問 7 CDR の概観検証に検証委員として参加したことがありますか？

(当てはまるもの1つ)

1. 一度もない
2. はい、1回だけある
3. 2～4回ある
4. 5回以上ある
5. わからない
6. オブザーバーとして参加したことがある

問 8 勤務している都道府県はどちらですか？

1. 北海道
2. 福島県
3. 山梨県
4. 群馬県
5. 三重県
6. 滋賀県
7. 京都府
8. 香川県
9. 高知県
10. その他（記載してください： _____)

問 9 あなたの都道府県での CDR の運営状況をわかる範囲で教えてください。

(当てはまるもの1つを選んでください)

1. 個別検証も概観検証も実施している
2. 概観検証のみ実施している
3. 個別検証のみ実施している
4. 現在どちらも実施していないが、準備中である
5. その他（記載してください： _____)
6. わからない

問 10 CDR に関する会議（個別検証または概観検証、準備会議も含む）に
参加して、どのように感じていますか？

以下の項目について、それぞれの点数を 回答用紙に記載してください

1(全くそう思わない)・2・3・4・5・6・7・8・9・10(非常にそう思う)点

1. 会議に満足している
2. 会議は今後も続けていくべきである
3. 会議に今後も参加したいと思う
4. 会議に参加するのは時間的に負担が大きい
5. 会議に参加するのは心理的に負担が大きい

問 11 死亡事例の検証会議（個別・概観検証含む）について、回答してく
ださい。

検証会議に参加してみて、どのように感じていますか？

1(全くそう思わない)・2・3・4・5・6・7・8・9・10(非常にそう思う)点

※検証会議に参加したことがない方は、0 と記入してください

以下の項目について、それぞれの点数を 回答用紙に記載してください

1. 死亡に至る時間的経過が理解できた
2. 医学的なメカニズム・原因が理解できた
3. 家族を取り巻く社会的・心理的な要因が理解できた
4. 司法機関や司法制度について理解ができた
5. 福祉機関や福祉制度について理解ができた
6. 多職種の価値観や判断基準が理解できた
7. 原因を検証するために必要な情報を得ることができた
8. 具体的な予防策を検討することができた
9. 同死因を複数検討することで、傾向を理解することができた
10. 地域全体における死亡事例の全体像を理解することができた

問 12 あなた自身やあなたの都道府県の CDR に関わっている人たち（道府県や事務局・検討委員・関係者など、以下、CDR チームと呼びます）について、CDR の導入・実施においてどのように感じますか。

1(全くそう思わない)・2・3・4・5・6・7・8・9・10(非常にそう思う)点

※ 実施前のチームの方は、準備会議等の雰囲気について教えてください

※一度も参加したことがない方は、0点 と記入してください

1. 私は、自分の専門性を用いて、チームでの議論に貢献できている
2. 私は、他の職種の人がわかりやすい言葉で説明できている
3. CDRの準備・検証会議への参加について、事前に必要な情報が得られている
4. CDR の準備・検証会議への参加に関して、職場の理解が得られている
5. CDR の活動は、より良い社会の実現につながると思う
6. CDR チームのメンバーは、共通の目的に向かって協働している
7. CDR チームのメンバーは、互いの価値観や意見を尊重している
8. CDR チームのメンバーは、建設的なコメントやフィードバックを提供している
9. CDR チームでは、各メンバーがそれぞれの職種の専門性を発揮できている
10. CDR チームは、変化を起こすためにお互いに協力しようとしている

問 13 あなたの都道府県の CDR（個別検証または概観検証）では、下記の死亡事例について、どの程度、議論が十分になされていると思いますか。

1(全く十分ではない)・2・3・4・5・6・7・8・9・10(とても十分である)点

※一度も参加したことがない方は、0点 と記入してください

※ 実施前チームの方は、検証のための準備がどの程度できていそうかを教えてください

1. 病死（内因死）
2. 交通事故による死亡
3. 交通事故以外の事故による死亡（溺水、転落など）
4. 児童虐待・ネグレクトが疑われる死亡
5. 保護者以外の加害による死亡（他殺）
6. 予期せぬ突然死
7. 学校・幼稚園・保育園などでの死亡
8. 自殺
9. 死産・出生直後の院外死亡・ 嬰兒遺棄
10. その他の死因

以下の点について、回答用紙に 自由にご意見を記載してください

問 14 CDR（準備会議・個別検証・概観検証）の議論の中で良かった点について、教えてください。特に、参加する前に想像していたことと違った部分があったら、教えてください。準備中の場合は検証の準備を進めていて感じた良かった点について教えてください。

問 15 CDR（準備会議・個別検証・概観検証）の議論の中で大変だった点について、教えてください。特に、参加する前に想像していたことと違った部分があったら、教えてください。準備中の場合は検証の準備を進めていて感じた大変だと感じた点について教えてください。

問 16 CDR をすすめる上で、これからどうしていきたい、どうあってほしいなど、考えている・感じていることがありましたら、何でも結構です。自由にご意見を聞かせてください。

以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

普段より CDR の活動にご尽力いただき、感謝申し上げます。

今後とも子どもの死亡の予防のために、どうぞよろしく願いいたします。

回答用紙

※ こちらのみ提出してください

回答日	年 月 日
問1. 携帯電話(下4桁)	
問2. 性別	1. 男 2. 女 (○をつけてください)
問3. 年齢	才
問4. 職種	
問5. 勤務年数	
問6. 個別検証の参加経験	
問7. 概観検証の参加経験	
問8. 都道府県	
問9. 都道府県のCDR運営状況	

問10. 会議の満足度 (準備会議・検証会議も含む) 1(全くそう思わない)~10(非常にそう思う)点

1. 満足している	
2. 今後も続けていくべき	
3. 今後も参加したい	
4. 時間的に負担が大きい	
5. 心理的に負担が大きい	

問11. 検証会議の理解度 0(検証会議経験なし)、1(全くそう思わない)~10(非常にそう思う)点

1. 死亡に至る時間的経過が理解できた	
2. 医学的なメカニズム・原因が理解できた	
3. 家族を取り巻く社会的・心理的な要因が理解できた	
4. 司法機関や司法制度について理解ができた	
5. 福祉機関や福祉制度について理解ができた	
6. 多職種の価値観や判断基準が理解できた	
7. 原因を検証するために必要な情報を得ることができた	
8. 具体的な予防策を検討することができた	
9. 同死因を複数検討することで、傾向を理解することができた	
10. 地域における死亡事例の全体像を理解することができた	

問12. チームの雰囲気

0(会議経験なし)、1(全くそう思わない)~10(非常にそう思う)点

1. 私は、自分の専門性を用いて、チームでの議論に貢献できている	
2. 私は、他の職種の人とわかりやすい言葉で説明できている	
3. CDRの準備・検証会議への参加について、事前に必要な情報が得られている	
4. CDRの準備・検証会議への参加に関して、職場の理解が得られている	
5. CDRの活動は、より良い社会の実現につながると思う	
6. CDRチームのメンバーは、共通の目的に向かって協働している	
7. CDRチームのメンバーは、互いの価値観や意見を尊重している	
8. CDRチームのメンバーは、建設的なコメントやフィードバックを提供している	
9. CDRチームでは、各メンバーがそれぞれの職種の専門性を発揮できている	
10. CDRチームは、変化を起こすためにお互いに協力しようとしている	

問13. 死因別の議論状況

0(会議経験なし)、1(全く十分ではない)~10(とても十分である)点

1. 病死（内因死）	
2. 交通事故による死亡	
3. 交通事故以外の事故による死亡（溺水、転落など）	
4. 児童虐待・ネグレクトが疑われる死亡	
5. 保護者以外の加害による死亡（他殺）	
6. 予期せぬ突然死	
7. 学校・幼稚園・保育園などでの死亡	
8. 自殺	
9. 死産・出生直後の院外死亡 ・ 嬰兒遺棄	
10. その他の死因（記載： _____ ）	

問14. 良かった点

問15. 大変な点

問16. その他ご意見

ご協力ありがとうございました。普段より CDR の活動にご尽力いただき、感謝申し上げます。

今後とも子どもの死亡の予防のために、どうぞよろしく願いいたします。

CDR

実施状況 アンケート

2021/10/7

【A 県】

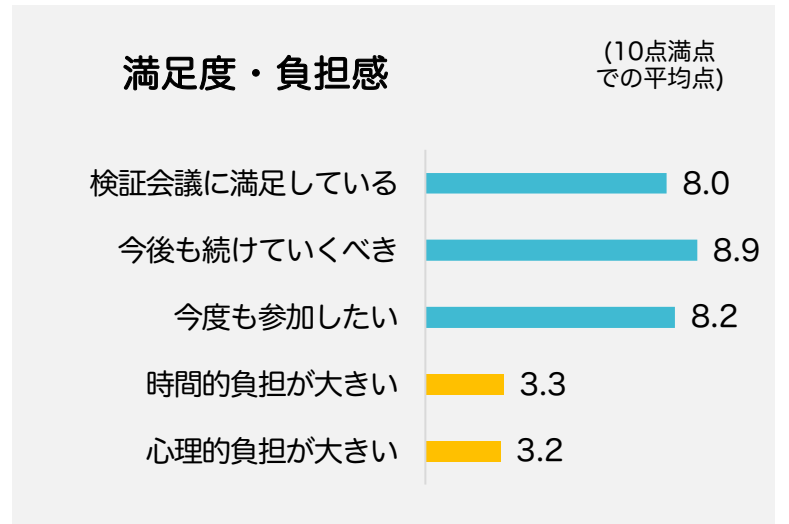
いつもCDR活動
にご協力いただき、
ありがとうございます。

今回の参加者
【27名】より
ご回答をいただきました。

厚労科研沼口班（わが国の至適な
チャイルド・デス・レビュー制度を
確立するための研究）にて作成

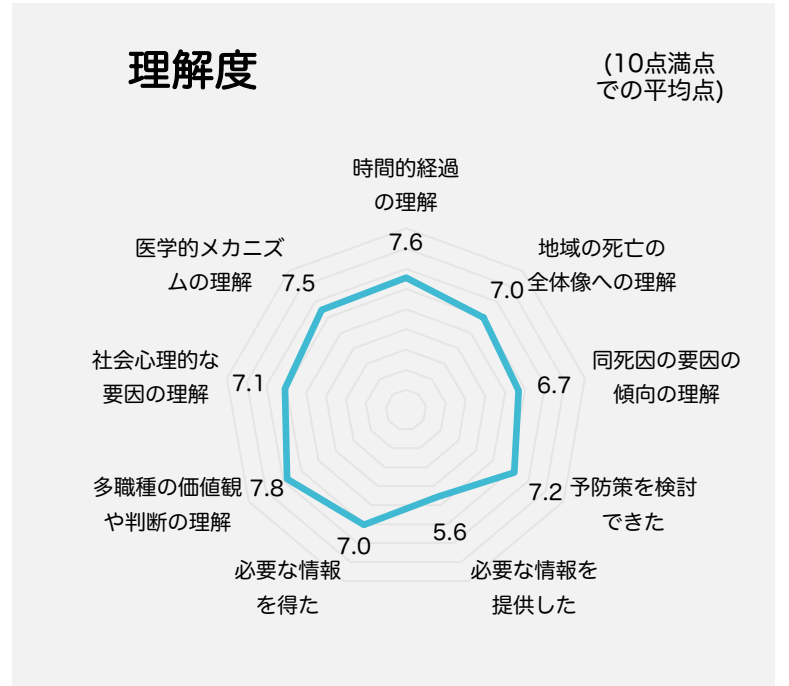
1. CDR会議の満足度や負担感について

- アンケートに回答して下さった皆様の満足度はとても高かったです（平均8.0点）
- 今度も続けていく意義や参加意欲を感じている方も、非常に多いです
- 負担感が高くなりすぎずに、継続していけるようにしたいですね



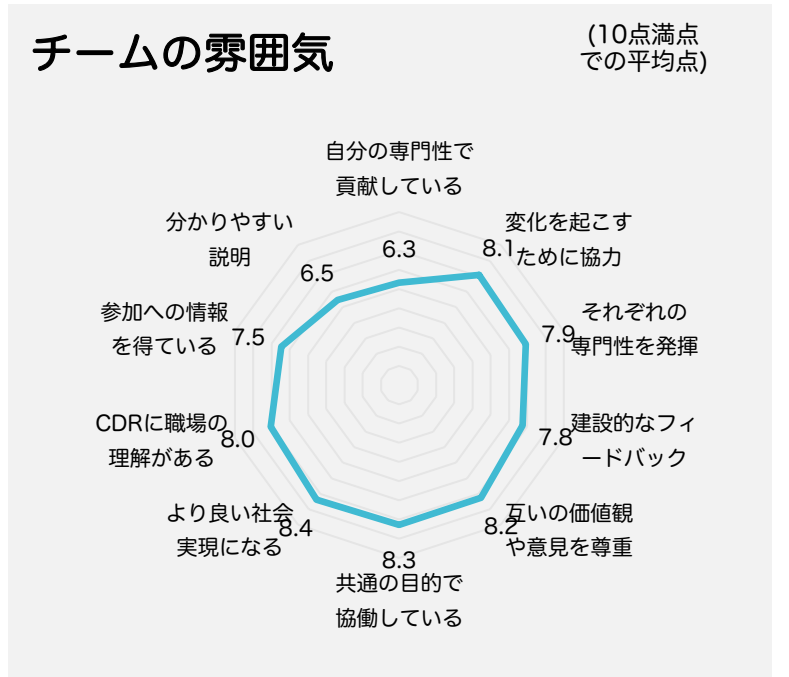
2. CDR会議による事例への理解度について

- 理解度が高かったのは、「多職種の価値観や判断の理解」でした
- 検討によって、医学的メカニズム、時間的経過、社会心理的要因の理解が進んだと、答えている方も多かったです（平均7点以上）
- 今後も議論を積み重ねていながら、理解をさらに深めていきましょう



3. CDR会議の雰囲気について

- 雰囲気でも平均点が高かったのは、「より良い社会実現になる、共通目的で協働している」でした
- チーム全体で共通目的を持ち、協働したいという雰囲気が感じられます
- 今後も議論を継続していく中で、お互いに分かりやすい説明を行なっていきましょう



【まとめ：今後のCDR会議に向けて】

- 参加している皆さんが、高い満足度・会議の意義・目的意識を持っていることがわかりました
- 多職種での議論をよりよく進めるために、共通目的を持ち、お互いの専門性を発揮しながら、今後も議論を継続していくことが大切です
- 今後もご協力のほど、よろしくお願いします！！

CDR

実施状況

アンケート

2022/2/13

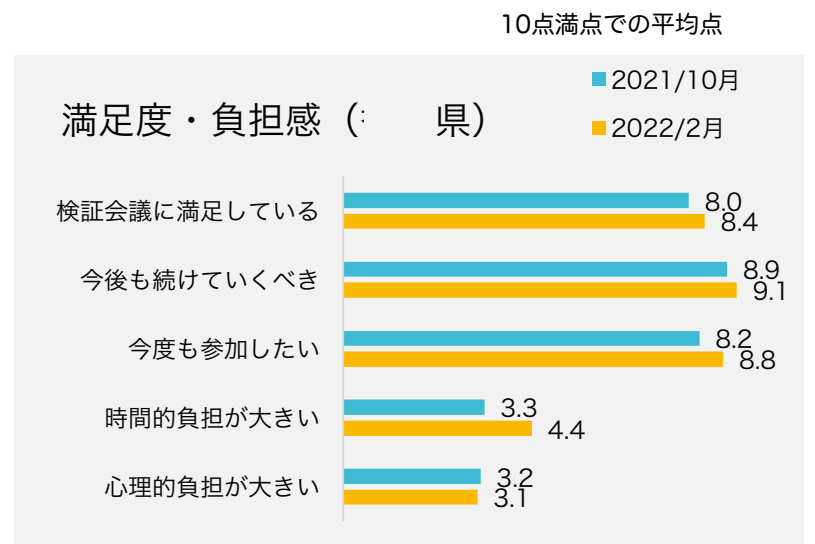
【A 県】

いつもCDR活動
にご協力いただき、
ありがとうございます。
ございます。

今回の参加者
【19名】より
ご回答をいただき
ました。

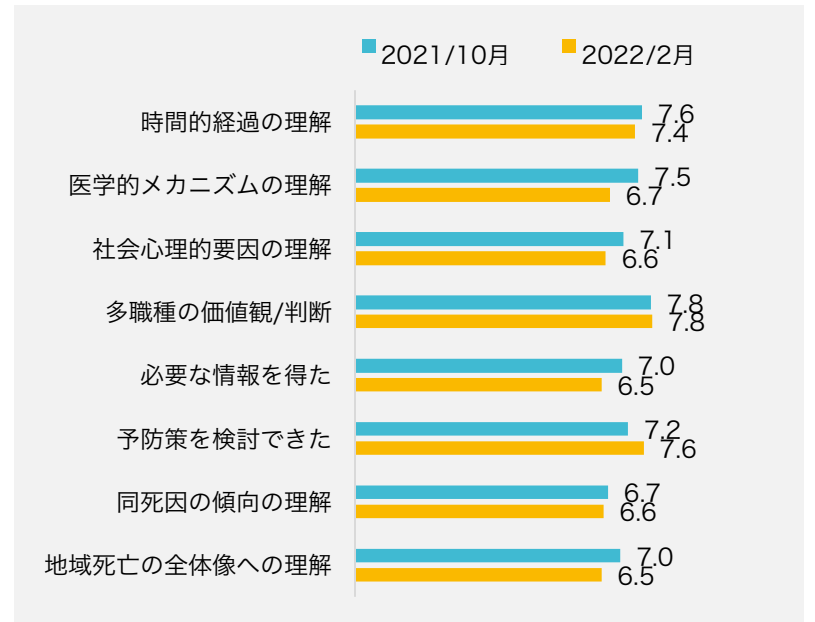
1. CDR会議の満足度や負担感について

- アンケートに回答して下さった皆様の満足度はとても高かったです（平均8.4点）
- 今度も続けていく意義や参加意欲を感じている方も、非常に多いです
- 負担感が高くなりすぎずに、継続していけるようにしたいですね



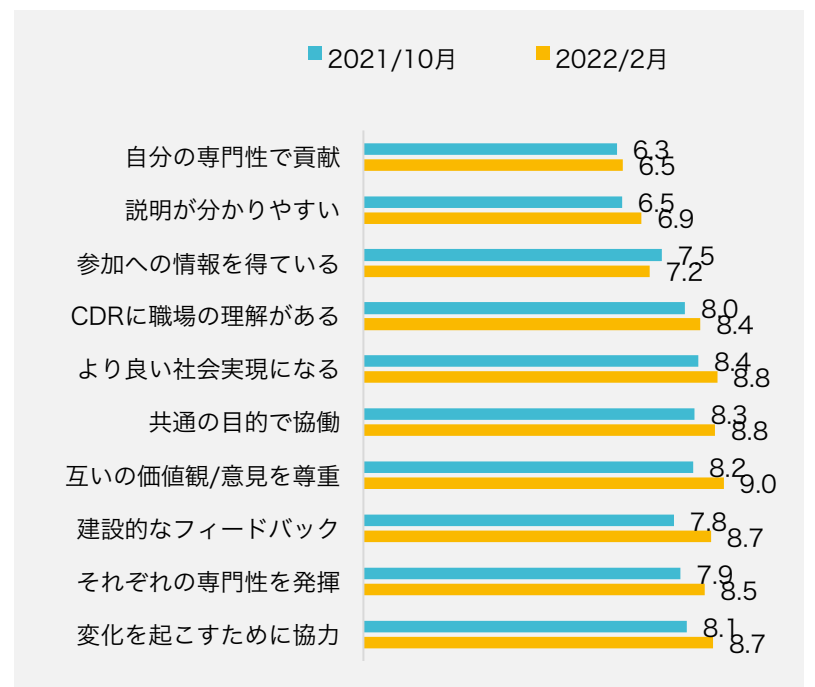
2. CDR会議による事例への理解度について

- 1・2回目ともに理解度が高かったのは、「多職種の価値観や判断の理解」でした
- 検討によって、医学メカニズムの理解の点数が少し増加しました。
- 今後も議論を積み重ねていながら、理解をさらに深めたいですね



3. CDR会議の雰囲気について

- 1回目より大きく点数が上がったのは、「互いの価値観や意見を尊重している、建設的なフィードバック」でした
- チーム全体で共通目的を持ち、協働したいという雰囲気が感じられます



【良いところ・大変なところの声】

- 様々な専門家からの意見が聞けてよかった。特に消防や警察とは接点がないので
- 各事件、事故を詳しく調べているが、個人情報、捜査中のため、会で説明できない点が大変である。
- 意見を出すことへの緊張感は高いが、会議の雰囲気としてはどんな意見も受け入れられる雰囲気はある。

【今後のCDR会議に向けての声】

- 個人情報保護法の枠をこえてもらいたい
- 全てがオープンに出来るよう立法又は法改正が必要である
- 回数を重ねていくことが重要であると思う

今後ご協力のほど、よろしくお願いします！！

CDR

実施状況 アンケート

2021/10/27

【B 県】

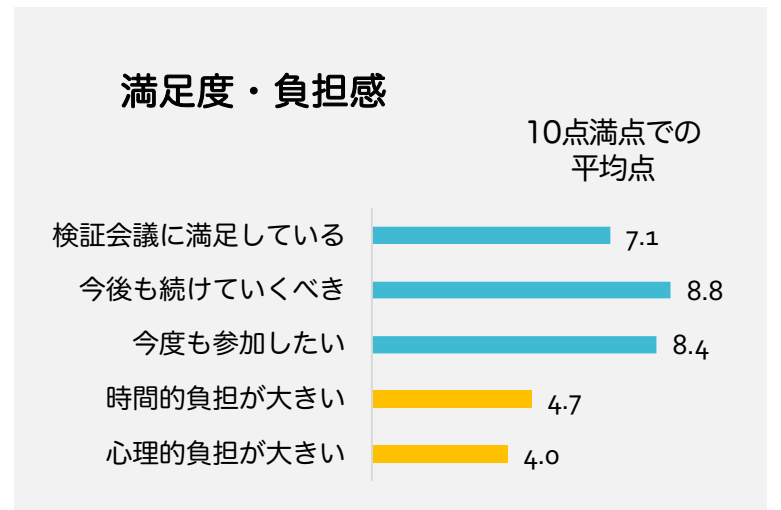
いつもCDR活動
にご協力いただき
き、ありがとうございます。
ございます。

今回の参加者
【22名】より
ご回答をいただき
ました。

厚労科研沼口班（わが国の至適な
チャイルド・デス・レビュー制度を
確立するための研究）にて作成

1. CDR会議の満足度や負担感について

- アンケートに回答してくださった皆様の満足度はとても高かったです（平均7.1点）
- 今度も続けていく意義や参加意欲を感じている方も、非常に多いです
- 負担感が高くなりすぎずに、継続していけるようにしたいですね



2. CDR会議による事例への理解度について

- 理解度が高かったのは、「多職種の価値観や判断の理解」でした
- 検討によって、医学的メカニズム、同死因の傾向の理解、社会心理的要因の理解が進んだと、答えている方も多かったです。
- 今後も議論を積み重ねていながら、理解をさらに深めていきましょう



3. CDR会議の雰囲気について

- 雰囲気でも平均点が高かったのは、「より良い社会実現になる、共通目的で協働している」でした
- チーム全体で共通目的を持ち、協働したいという雰囲気が感じられます
- 今後も議論を継続していく中で、お互いに分かりやすい説明を行なっていきましょう



【まとめ：今後のCDR会議に向けて】

- 参加している皆さんが、高い満足度・会議の意義・目的意識を持っていることがわかりました
- 多職種での議論をよりよく進めるために、共通目的を持ち、お互いの専門性を発揮しながら、今後も議論を継続していくことが大切です
- 今後もご協力のほど、よろしくお願いします！！

CDR

実施状況

アンケート

2022/2/16

【 B 県】

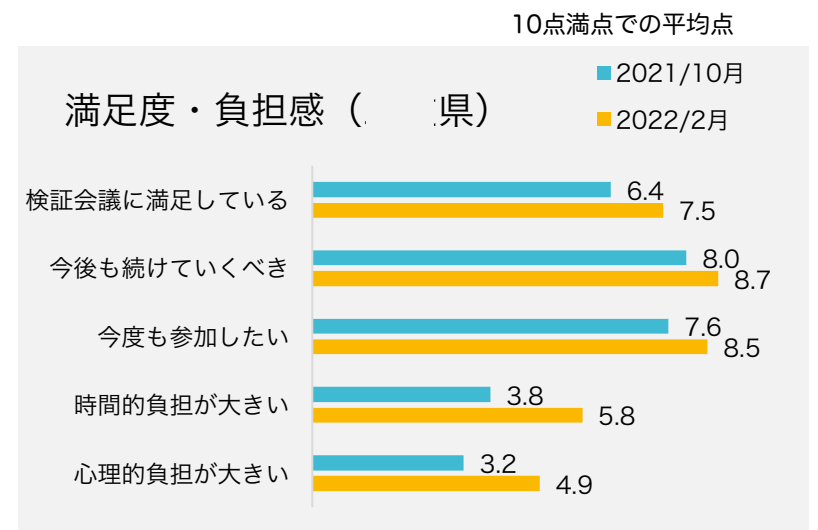
いつもCDR活動にご協力いただき、ありがとうございます。

今回の参加者【22名】よりご回答をいただきました。

厚労科研沼口班（わが国の至適なチャイルド・デス・レビュー制度を確立するための研究）にて
2022年3月作成

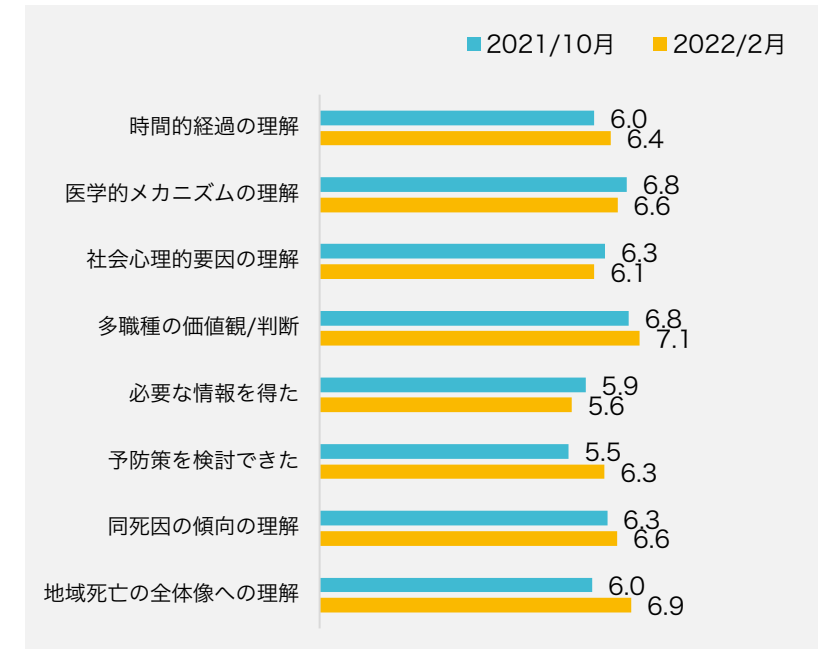
1. CDR会議の満足度や負担感について

- アンケートに回答してくださった皆様の満足度はとても高かったです（平均7.5点）
- 今度も続けていく意義や参加意欲を感じている方も、非常に多いです
- 負担感が高くなりすぎずに、継続していけるようにしたいですね



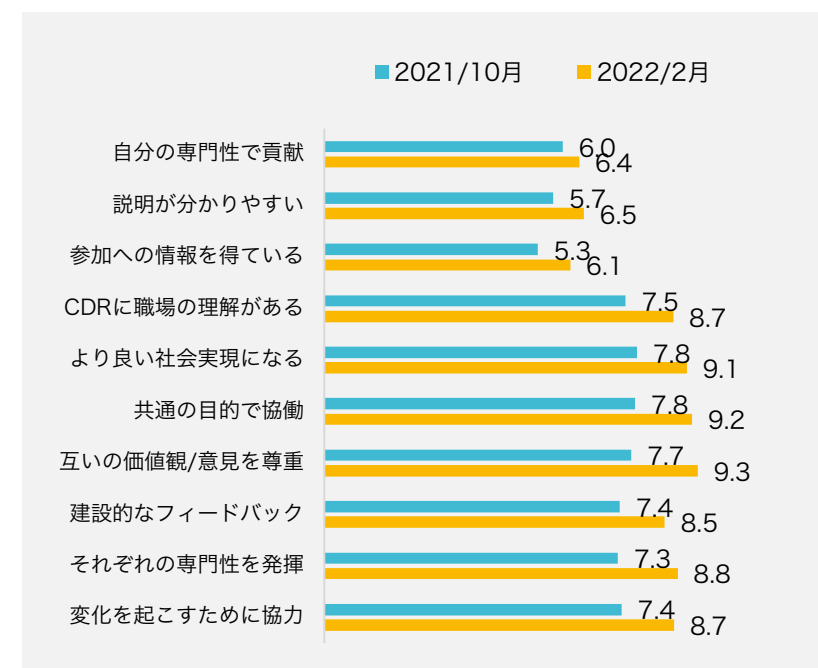
2. CDR会議による事例への理解度について

- 1・2回目ともに理解度が高かったのは、「多職種の価値観や判断の理解」でした
- 検討によって、地域死亡全体像への理解の点数が少し増加しました。
- 今後も議論を積み重ねていながら、理解をさらに深めたいですね



3. CDR会議の雰囲気について

- 1回目より大きく点数が上がったのは、「互いの価値観や意見を尊重している、共通目的で協働している、それぞれの専門性を発揮している」でした
- チーム全体で共通目的を持ち、協働したいという雰囲気が感じられます



【良いところ・大変なところの声】

- 児童精神、愛着障害など大切なことを学べた
- 子の死亡の傾向、特に地域における事故の傾向がわかってよかった
- 自殺の場合は生前の人間関係、事故の場合は現場の状況など、医療以外の情報が必要になるので、議論が困難

【今後のCDR会議に向けての声】

- 予防する方法について実現できる方法を考えて出すのが難しい
- 参加されている方がどのような思いをもって参加されているのか、知りたい
- できれば経年的に参加させていただければ、より深い意見を出すことができるかと思いました

今後ご協力のほど、よろしくお願いします！！

CDR

実施状況 アンケート

2021/12/20

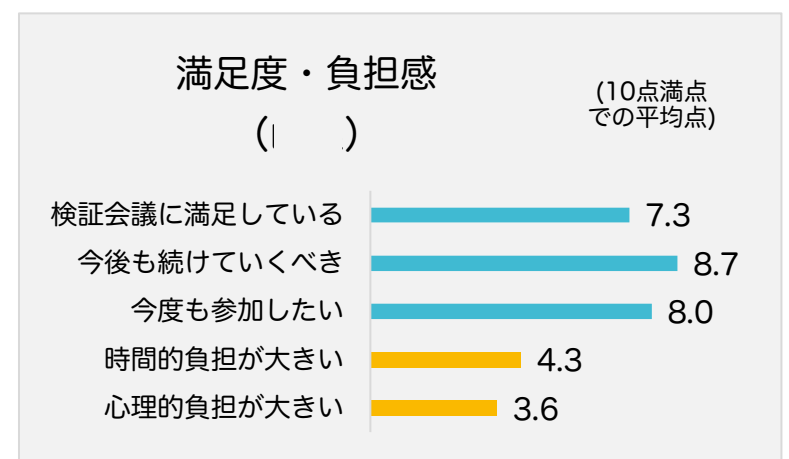
【山梨県】

いつもCDR活動
にご協力いただき、
ありがとうございます。
ございます。

今回の参加者
【20名】より
ご回答をいただき
ました。

1. CDR会議の満足度や負担感について

- アンケートに回答して下さった皆様の満足度はとても高かったです（平均 7.3点）
- 今度も続けていく意義や参加意欲を感じている方も、非常に多いです
- 負担感が高くなりすぎずに、継続していけるようにしたいですね



2. CDR会議による事例への理解度について

- 理解度が高かったのは、「多職種の価値観や判断の理解」でした
- 検討によって、時間的経過の理解ができた、予防策を検討できた、答えている方も多かったです（平均 7 点以上）
- 今後も議論を積み重ねていながら、理解をさらに深めたいですね



3. CDR会議の雰囲気について

- 雰囲気でも平均点が高かったのは、「より良い社会実現になる、CDRに職場の理解がある」でした
- チーム全体で建設的なフィードバックをしたり、協働したいという雰囲気が感じられます
- 議論では、お互いに分かりやすい説明を行なっていきましょう



【良いところ・大変なところの声】

- 多様な専門家の視点からの意見を聞くことができた
- 前向きに予防策について意見交換ができた
- 準備運営に結果として費やした時間は多大だった
- 痛ましいケースもあり、議論途中で精神的に落ち込むこともありました

【まとめ：今後のCDR会議に向けて】

- 情報提供するにあたっての法制化が必要
- に関わる人以外への説明や理解を得るための活動が大切だと思う
- 予防策に対するフィードバックが必要だと思います

今後ご協力のほど、よろしくお願いします！！

CDR

実施状況

アンケート

2022/2/18

【C県】

いつもCDR活動にご協力いただき、ありがとうございます。

今回の参加者

【15名】より

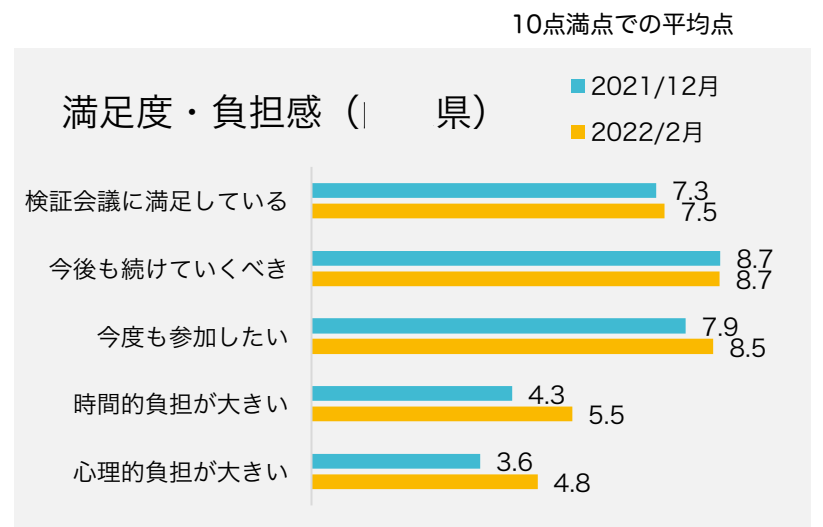
ご回答をいただき

きました。

厚労科研沼口班（わが国の至適なチャイルド・デス・レビュー制度を確立するための研究）にて
2022年3月作成

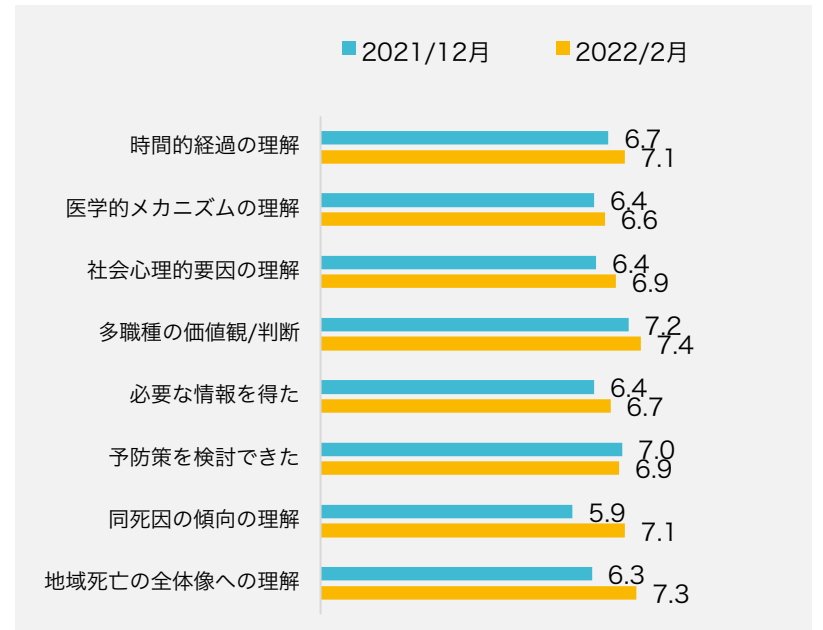
1. CDR会議の満足度や負担感について

- アンケートに回答してくださった皆様の満足度はとても高かったです（平均7.5点）
- 今度も続けていく意義や参加意欲を感じている方も、非常に多いです
- 負担感が高くなりすぎずに、継続していけるようにしたいですね



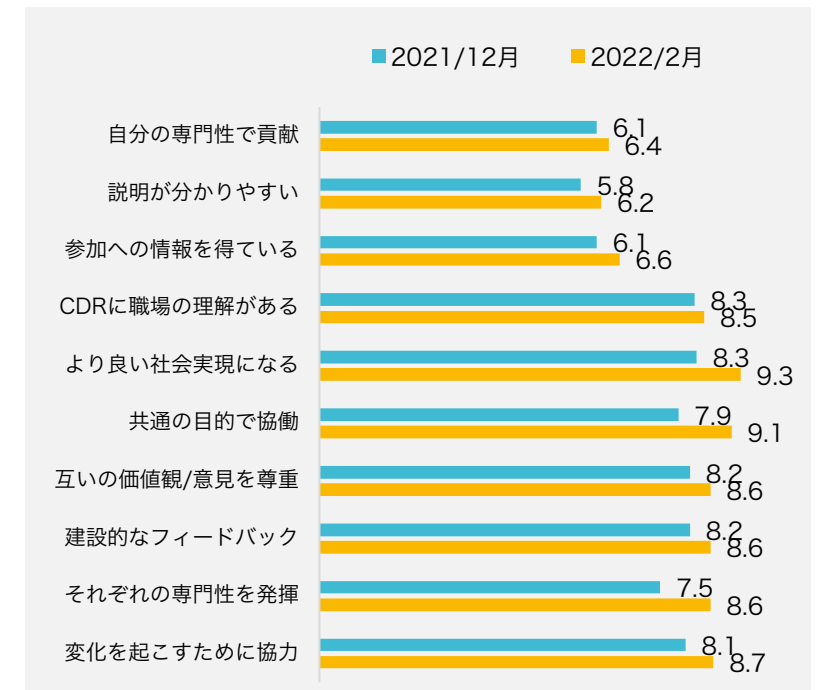
2. CDR会議による事例への理解度について

- 1・2回目ともに理解度が高かったのは、「多職種の価値観や判断の理解」でした
- 検討によって、同死因の傾向の理解の点数が少し増加しました。
- 今後も議論を積み重ねていながら、理解をさらに深めたいですね



3. CDR会議の雰囲気について

- 1回目より大きく点数が上がったのは、「共同の目的で協働、より良い社会実現になる、それぞれ専門性を発揮している」でした
- チーム全体で共通目的を持ち、協働したいという雰囲気が感じられます



【良いところ・大変なところの声】

- 予防策が、いつも具体的かつ様々な視点から提案されていると感じます
- 医師が中心になることにより、ともすると他の職種の負担感が増してしまう
- 個別検証での議論の全容がわからないため、概観検証で異なる意見や新たな提案をするのがやや難しい

【今後のCDR会議に向けての声】

- ジェノグラムの充実を図ることを希望します。また、当該児童の祖父母との関わりまで、情報として提供してほしい
- どうしても医療現場のアセスメントと改善点が強くなっているように感じます。司法、教育、保健、福祉の視点からのアセスメントと改善点考えていかなければならないのではないかと考えました。

今後もご協力のほど、よろしくお願いいたします！！

CDR

実施状況

アンケート

2021/12/14

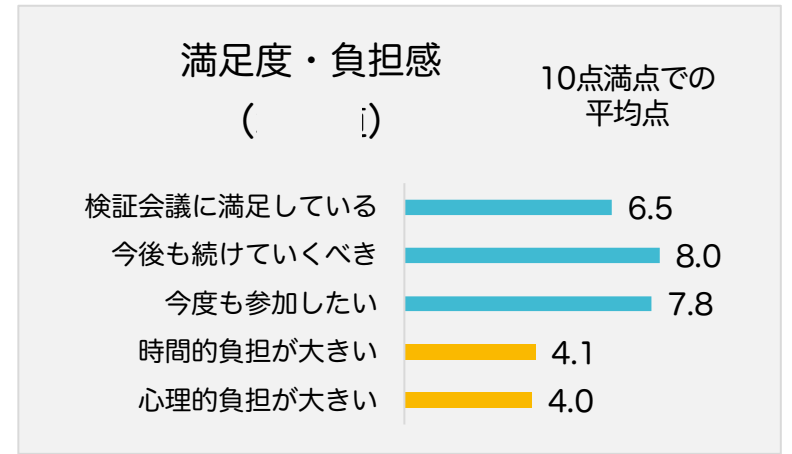
【北海道】

いつもCDR活動
にご協力いただき、
ありがとうございます。
ございます。

今回の参加者
【9名】より
ご回答をいただき
ました。

1. CDR会議の満足度や負担感について

- アンケートに回答してくださった皆様の満足度は平均6.5点でした。
- 今度も続けていく意義や参加意欲を感じている方が、非常に多いです
- 負担感が高くなりすぎずに、継続していけるようにしたいですね



2. CDR会議の雰囲気について

- 最も平均点が高かったのは、「よりよい社会実現になる」という意見でした (9.2点)
- 変化を起こすために協力する・建設的なフィードバックをする・それぞれの専門性を発揮する・互いの価値観や意見を尊重する、という雰囲気が感じられます
- 議論では、お互いに分かりやすい説明を行なっていきましょう



【良いところ・大変なところの声】

- 将来起こりえる小児死亡を防止できるのであれば、大変に喜ばしい
- 立ち上げの会議に参加した段階であり今後の議論に期待している
- メンバーにCDRを理解していただくことが大変そうだった
- 実施している他の地域との横のつながりを持ち、定期的に意見交換が必要
- 関係機関の役割がもう少し説明があるとよかった

【まとめ：今後のCDR会議に向けて】

- 難しいテーマの事業と思います。事務局の皆様お疲れ様です

今後ご協力のほど、よろしくお願いいたします！！

CDR

実施状況 アンケート

2021/12/13

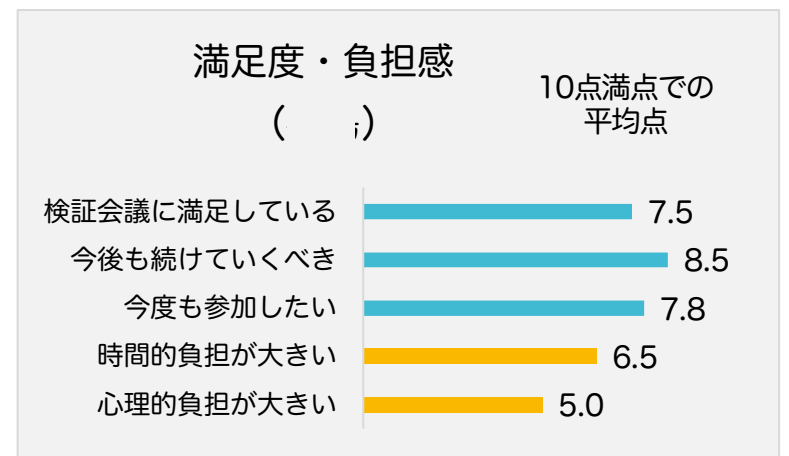
【福島県】

いつもCDR活動
にご協力いただき、
ありがとうございます。
ございます。

今回の参加者
【7名】より
ご回答をいただき
ました。

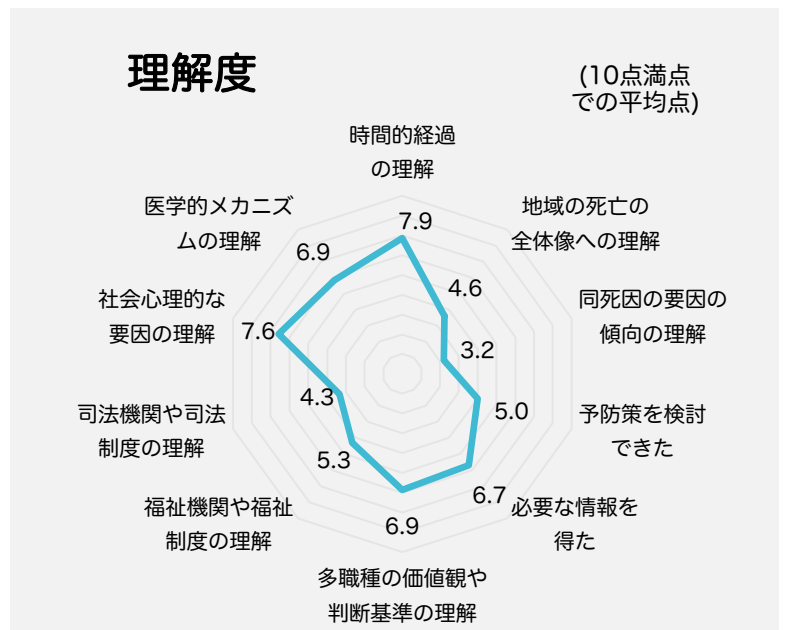
1. CDR会議の満足度や負担感について

- アンケートに回答して下さった皆様の満足度はとても高かったです (平均 7.5点)
- 今度も続けていく意義や参加意欲を感じている方も、非常に多いです
- 負担感が高くなりすぎずに、継続していけるようにしたいですね



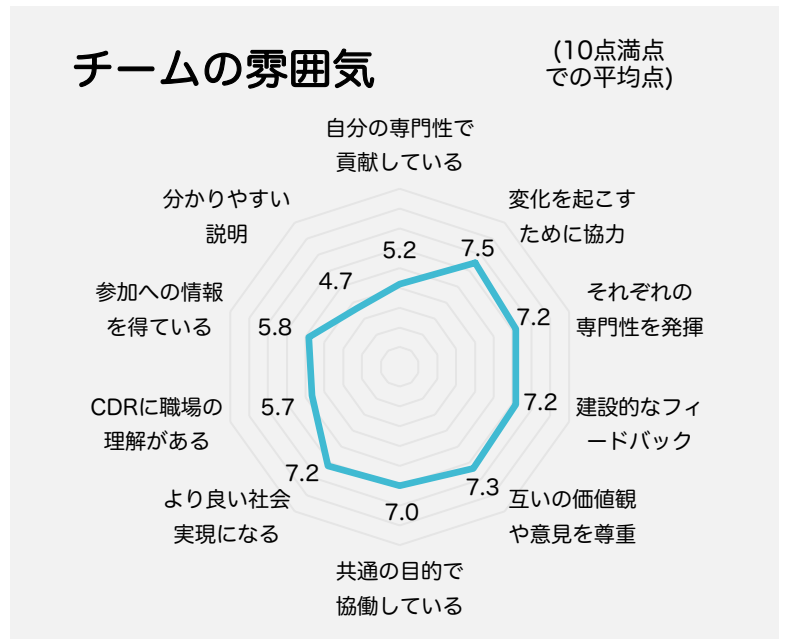
2. CDR会議による事例への理解度について

- 理解度が高かったのは、「時間経過・社会心理的な要因の理解」でした
- 医学的メカニズム、多職種への理解が進んだと答えている方も多かったです。
- 福祉・司法制度などの理解も、これからさらに深めたいですね



3. CDR会議の雰囲気について

- 雰囲気でも平均点が高かったのは、「変化を起こすために協力、互いの価値観や理解の尊重」でした
- 建設的なフィードバック・専門性の発揮・より良い社会実現をしたという雰囲気が感じられます
- 議論では、お互いに分かりやすい説明を行なっていきましょう



【良いところ・大変なところの声】

- 振り返りを行ったことで、関わりについても再度見直す機会になった
- 家族の病気に対する考え方や思いを知ることができた
- 同意書の準備（説明やタイミング）、個人情報の取扱い

【まとめ：今後のCDR会議に向けて】

- 保護者の同意が必要かは検討が必要

今後ご協力のほど、よろしくお願いします！！